

九州大学では、平成12年4月の「全学大学院重点化」（大学院に、より重点をおいて、教育研究組織を構成すること）の完了とともに、全国でも初めての「学府・研究院」制度を設けました。これは、大学院の教育研究組織である「研究科」を、大学院の教育組織としての「学府」(Graduate School)と教員の所属する研究組織である「研究院」(Faculty)とに分離して、相互の柔軟な連携を図るものです。

(図1)

大学院重点化に伴って、教員の所属は従来の学部から大学院に移り、さらに大学院を教育組織と研究組織に分離することにより、学府・学部教育への研究院の枠を超えた教員の多様な参加が可能となりました。また、教育・研究双方の組織をそれぞれの必要性から独自に再編することが可能となりました。

図1

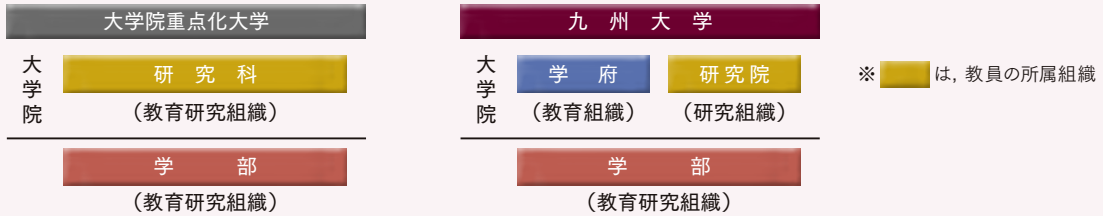
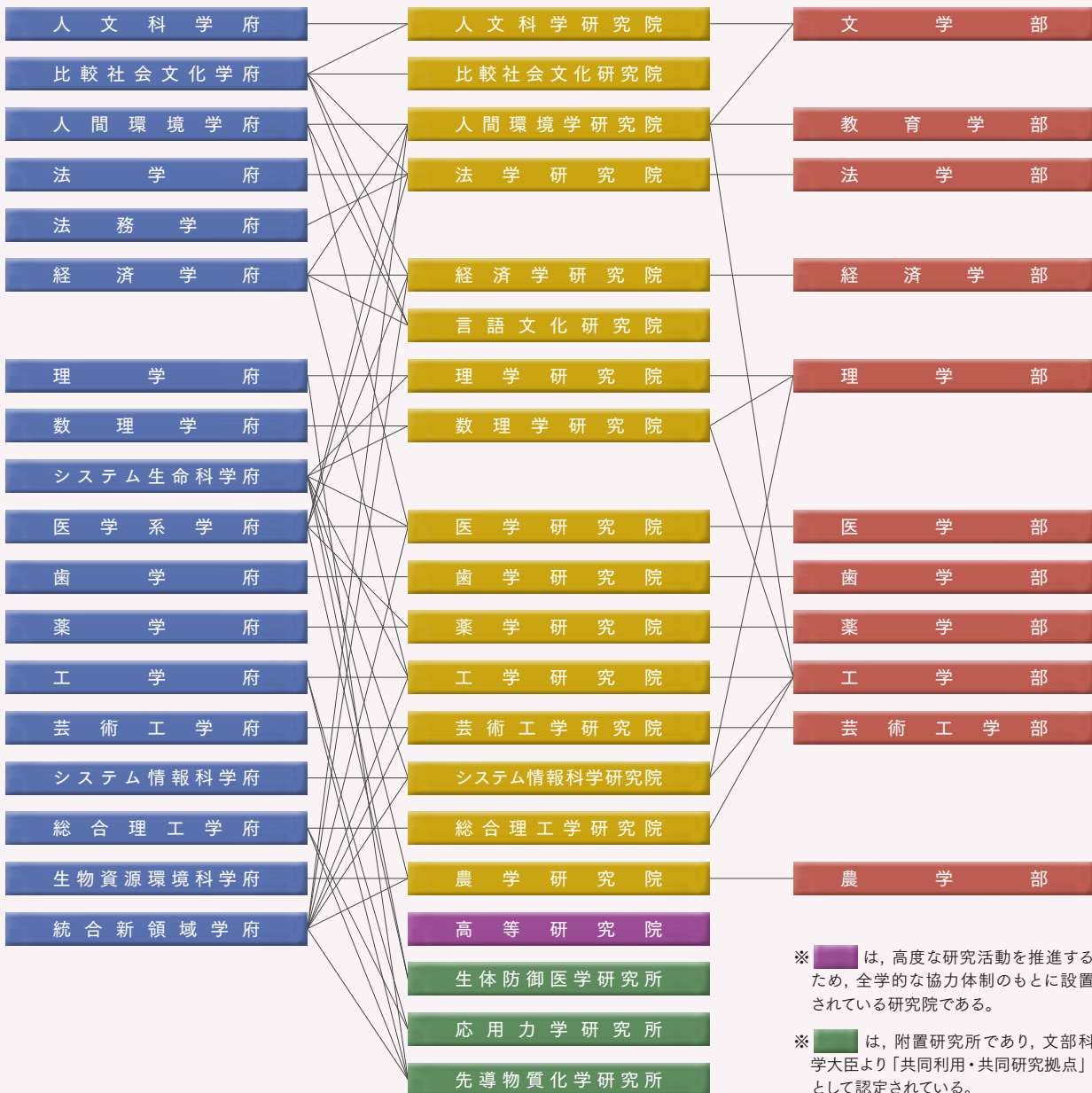


図2

学府・研究院・学部の編成



歴代総長／運営組織

役員等／経営協議会委員

教育研究評議会評議員

沿革

学府・研究院制度について

大学の組織

部局長等

教育研究組織

学生定員及び在籍学生数

入学状況

学位取得者数等

学部卒業・大学院修了後の進路状況

教職員数等

社会との連携

国際交流

収入・支出

グローバルCOEプログラム等

教育プログラム採択状況

建物配置図及び部局所在地

土地・建物

諸施設

案内図